

技術・家庭科 《第1学年家庭分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	日食生活 食事の役割と食習慣 <4時間> 中学生に必要な栄養を満たす食事 <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> 食習慣と健康について考える。 自分の食生活を振り返り、課題を見付ける。 5つの栄養素、水の働きを知る。 様々な食品を栄養的特徴により6つの食品群に分類する。 中学生に必要な栄養素を知る。 食品群別摂取量を知り、中学生の栄養的特徴に気付く。 食品群別摂取量を元に、献立を考えることができる。 献立作成の条件と手順を確認する。 	① 食事の役割 ② 健康によい食習慣 ① 中学生の発達と必要な栄養 ② 異様そのはたらきと6つの基礎食品群 ③ 栄養バランスを目で見判断	・生活の中で食事が果たす役割について理解している ・健康によい食習慣について理解している。 ・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ・中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。	・元気な毎日と食べ物（家庭） ・くふうしよう 楽しい食事（家庭） ・はじめてみよう クッキング（家庭）
6 7	さまざまな食品とその選択 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品の特徴がわかる。 目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 加工食品の特徴がわかる。 目的に応じて加工食品を選択できる。 食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心を持って選択できる。 	食品が食卓にのぼるまで ① 生鮮食品の選択と保存 ② 加工食品の選択 ③ 食品の安全と情報	・日常生活と関連づけ、用途に応じた生鮮食品、加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
9 10	日常食の調理 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> 調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 肉、魚、野菜の特徴や調理上の取り扱いがわかり、調理することができる。 	① 調理の計画 ② おいしさと調理 ③ ますます好きになる肉の料理 ④ こんなにおいしい魚の調理 ⑤ 好きになる野菜の調理	・1食分の献立について、安全と衛生に留意し食品の組み合わせを考え、工夫している。 ・食品の選択を既習の学習内容を活用して考え工夫している。食品や調理用具などの適切な管理ができる。 ・調理の目的や食材にあった基本的な調理操作ができる。 ・安全と衛生に留意し衛生的な調理室の使い方や調理器具の取り扱い方を考えようとしている。 ・食品や調理用具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解している。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を理解している。 ・食品の選択を既習の学習内容を活用して考え工夫している。	

11	地域の食文化 <3時間>	地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	地域の食文化	知 関 関 関	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生産されている野菜に関心をもっている。 日本の食糧事情を理解し、これからの食生活の課題を考えることができる。 安全と衛生に留意し、食品や調理用具などの適切な管理ができる。 地域の食材を利用することの意義を理解している。 	
12	C 消費生活・環境 家庭生活と消費 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 商品の購入の際に、情報の必要性に気づき、情報を集めることができる。 商品の購入の際に、情報の必要性に気づき、情報を集めることができる。 購入時の情報となる表示やマークについて知る。 販売方法・支払い方法の種類や特徴について知る。 商品を購入することは売買契約にあたり、権利と責任があることを理解する。 トラブルを防ぐための注意点や解決方法を知る。 	<ol style="list-style-type: none"> 消費生活の仕組み 家庭生活における収入と支出 	知 関 関 関	<ul style="list-style-type: none"> 身近な販売方法に関心を持ち、利点や問題点・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入および活用について考え工夫している。 物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身につけている。 中学生に関わり深い販売方法の特徴を理解している。 消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 上手に使おう、ものやお金のやお金
1	購入・支払いと生活情報 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> 店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的にあった商品を選ぶことができる。 	<ol style="list-style-type: none"> いろいろな購入方法 購入前に知っておくこと いろいろな支払い方法 情報を活用した上手な購入 	知 関 関 関	<ul style="list-style-type: none"> 購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。 計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫創造し、実践しようとしている。 	
2	消費者被害と消費者の自立 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 消費者を支える仕組みについて理解できる。 消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。 	<ol style="list-style-type: none"> なくならない消費者被害 消費者を支えるもの 消費者の権利と責任 	知 関 関 関	<ul style="list-style-type: none"> 消費者被害の背景とその対応について理解している。 自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する。 消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返り改善したりして、生活を工夫創造し、実践しようとしている。 	消費者被害と消費者の自立 <2時間>
3	持続可能な社会 <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響日手理解する。 環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 消費者行動が社会に与える影響 消費者行動が環境に与える影響 世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ 	知 関 関 関	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。 自分や家族の消費生活について、環境に配慮した消費生活について考え、実践を通して自分なりに工夫創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えようこれからの生活（家庭）

技術・家庭科 《2学年家庭分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	B衣生活 ・目的に応じた衣服の選択 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と住まいが自分をおおっている環境であることに気づき、これからの学習に意欲をもつ。 ・TPOに応じた衣服の着用を知る。 ・衣服と社会生活との関わりを考え、衣服をコーディネートする。 ・衣服の計画的な活用や入手方法を考える。 ・衣服の計画的な活用の必要性を理解する。 ・既製服を購入する時の注意点について、情報を収集・整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択 	知 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い季節を快適に（家庭） ・寒い季節を快適に（家庭）
				思 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価改善し、表現できる。 	
6	日常着の手入れと保管 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服を快適に着用するための手入れの方法を知る。 ・衣服の材料や状態に応じた洗濯・補習・手入れができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管 	知 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。 	
主 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 					
7 9 10	生活を豊かにするものの製作 手縫い <5時間> ミシン <8時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の学習を振り返り、衣生活を豊かにするためのものの製作に関心をもち、計画を立て、製作を行う。 ・作品を作り方の手順に従い、意欲的に製作をする。 ・ミシン縫いとミシン操作を確認する。 	布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	知 <ul style="list-style-type: none"> ・製作する物に適した材料や縫い方について理解し、製作できる。 ・ミシン操作や基本的な縫製技術を用いて、手際よく適切に作業することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめてみようソーイング（家庭） ・わくわくミシン（家庭） ・物の製作（家庭）
				思 <ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現している。 	
				主 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	

11	持続可能な衣生活 <1時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。 ・持続可能な衣生活をめざして、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。 	持続可能な衣生活をめざして	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">知</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">思</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">主</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・よりよい衣生活をめざして、衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し創造し実践しようとしている。 	
12	B住生活 住まいのはたらきとこころ <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の基本的な機能を知る。 ・住空間と生活行為の関わりについて考える。 	①住まいのはたらき ②住まいの空間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">知</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">思</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">主</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間の関わりについて理解している。 ・よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組み、改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い季節を快適に（家庭） ・暑い季節を快適に（家庭） ・きれいにしようクリーン大作戦（家庭）
1	安全な住まいで安心な暮らし <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方を工夫する。 ・安全で快適な住まい方を理解する。 ・住空間と生活行為の関わりを考える。 	①家庭内事故への備え ②災害への備え	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">知</div>	家庭内の事故の防ぎ方、自然災害への事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	
2				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">思</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">主</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 ・よりよい住生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 	
3	持続可能な住生活 <1時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 ・課題を見つけ改善方法を考える。 	持続可能な住生活をめざして	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">知</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">思</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">主</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定し、工夫している。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。 	

技術・家庭科 《第3学年家庭分野》年間指導計画

技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	A 家族・家庭生活 自分の成長と家族・家庭生活 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での活動を考え、家庭のはたらきを理解する ・家庭のはたらきと社会のつながりを理解する ・家庭生活と地域との関わりについて理解する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 今の自分とこれまで ② わたしの生活と家族・家庭 ③ 家庭で支える社会 ④ 中学生にとっての家族 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらきを支える条件について理解している。 ・家庭のはたらきと社会のつながりについて理解している。 	
6 7	幼児の生活と家族 <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期への関心をもつ。 ・幼児の身体の発達について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する ・幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ・子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する ・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 幼児のころと今の自分 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 発達にとってのおとなの役割 ⑤ 遊びが必要なわけ ⑥ 遊びを支える環境 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達、心の発達について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長したわたしたち（家庭） ・自分のことをもっと知りたいな（低学年 生活） ・見つめてみようわたしと家族の生活（家庭）
9	幼児とのかかわり <2時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活に役立つものを作ろう ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができることを考える。 	④ 子どもの成長と地域	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活に役立つものの材料を選び、幼児に配慮して作ることができる。 	
10 11	家庭生活と地域の関わり <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざま 	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭生活と地域での活動 ② 多様な人びとが暮らす地域 ③ 地域に暮らす高齢者 ④ 高齢者とのかかわり 	知 思 主 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくミシン（家庭） ・生活を楽しくしようソーイング（家庭）

12 1 2		<p>な高齢者がいることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> • 地域の人々と関わり、共同する方法について問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察している。 	
3	<p>3年間を振り返って</p> <p><0.5時間></p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。 	3年間を振り返って	<p>国</p> <ul style="list-style-type: none"> • 家庭分野で学習してきたことをこれからの生活に生かそうとしている。 	